

寿都町再生可能エネルギー推進協議会 第1回協議会

議 事 録

日 時：令和6年3月8日（金） 午後2時00分～

場 所：寿都町役場 2階 会議室

寿都町再生可能エネルギー推進協議会議事録

1. 開催日時

令和6年3月8日（金） 午後2時00分～午後2時30分

2. 開催場所

寿都町役場 2階 会議室

3. 出席委員等

委員長 片岡 春雄（寿都町長）

副委員長 田中 直（寿都町農業委員会会長兼湯別町内会 会長）

委員 木村 豊（寿都町公営企業 企業管理課長）【兼事務局長】
松本 啓太郎（尻別風力開発㈱ 取締役）※代理
佐藤 秀和（南しりべし森林組合 業務係）※代理
阿部 登（寿都町漁業協同組合 代表理事組合長）
鹿内 昭市（樽岸町内会 会長）
千葉 哲夫（歌棄町内会 会長）
高橋 政晴（島古丹町内会 会長）
見上 伸（日立パワーソリューションズ 風力事業サポート部担当部長）

オブザーバー 武田 浩司（北海道農政事務所 食品企業調整官）
富樫 英二（北海道農政事務所 事業支援課 課長補佐）
佐々木 賢（後志総合振興局 農務課 主査（農地））

随行員 鈴木 健郎（尻別風力開発㈱ 操業管理チーム副課長）

事務局 土開 直樹（寿都町公営企業 企業管理課 風力発電事業係長）

4. 欠席委員

委員 佐藤 仁紀（ようてい農業協同組合 黒松内支所長）
杉本 孝喜（能津登町内会 会長）

5. 会議に付された案件

- 1) 再生可能エネルギー農村活性化事業基金の運用状況について
- 2) 尻別風力開発株式会社の農山漁村の発展に資する取組について

6. 会議の概要

事務局長	<p>本日はお忙しい中、令和5年度寿都町再生可能エネルギー推進協議会第1回協議会にお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>ただいまより、協議会を始めたいと思います。</p> <p>まず、最初に、委員長より第1回協議会開催にあたってのごあいさつを頂戴したいと思います。</p>
委員長	<p>皆さん、お疲れ様でございます。</p> <p>本日は、何かとお忙しいところご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>本年度の第1回協議会におきましては、平成28年度より皆様方にご協力をいただきまして作成しております、寿都町再生可能エネルギー推進基本計画に基づき、認定いたしました設備整備計画に対しまして、農林漁業の健全な取り組み内容についてご協議いただきますとともに、町の基金の運用状況等につきまして、協議させていただきたいと思っております。</p> <p>委員の皆様方におかれましては、忌憚のないご意見をいただければと思いますので、よろしく願い申し上げます、簡単ではありますがご挨拶とさせていただきます。</p> <p>どうぞよろしくお願い申し上げます。</p>
事務局長	<p>委員長ありがとうございます。</p> <p>それでは、早速議事の方に入らせていただきたいと思います、寿都町再生可能エネルギー推進協議会設置要綱の第7条で「協議会の会議は必要に応じ委員長が招集し、会議の議長となる。」とありますので、委員長の方で議事を進めていただきますようお願いいたします。</p>
委員長	<p>それでは、議事に入らせていただきます。</p> <p>議案1 再生可能エネルギー農村活性化事業基金の運用状況について事務局より、提案内容の説明をお願いします。</p>
事務局	<p>議案1につきまして、ご説明させていただきます。</p> <p>こちらにつきましては、昨年の3月に開催させていただきました第</p>

1回協議会におきまして、ご承認いただいております、基金への積立及び基金の用途等の運用状況につきましてご説明させていただきます。

こちらにつきましては、資料等はございませんので、口頭での説明となります。

昨年度より、磯谷地区で風力発電事業を行われている尻別風力開発株式会社より、農林漁業の発展に資する取組を実施するために必要な資金として年間500万円を頂戴している状況でございます。

こちらの資金につきましては、昨年の本協議会終了後にご請求させていただき、町で設置しております再生可能エネルギー農村活性化事業基金に積立させていただいております。

用途につきましては、町といたしまして、農林漁業団体のご要望等を受けた上で、予算を計上しておりますことから、町の予算に必要なに応じて充当させていただきまして、活用をさせていただくということで、昨年の本協議会でご承認いただいているところであります。

そこで、本年度の基金の運用状況についてとなりますが、こちらにつきましては、令和5年度におきましては、基金の積立を行ったのみで、基金につきましては、今年度は活用されておられませんので、現時点におきましては、基金の積立額は、昨年度積立いたしました500万円に加えて、利息の22円の合計5,000,022円となりますことをご報告申し上げます。

以上、簡単ではありますが、基金の運用状況等につきましてのご説明とさせていただきますので、ご承認の程よろしくお願いいたします。

委員長

ただいま、事務局より説明がございましたが、こちらの基金につきましては、基金に積んだという事で、まだ活用はされておられません。

産業振興という事ですので、各団体の方からご要望等ありましたら、ご提案をいただければと思いますので、よろしく願いいたします。

この件についてよろしいでしょうか。

委員

(はいの声あり)

委員長

それでは、次の議題に入らせていただきます。

議案2 尻別風力発電開発株式会社の農山漁村の発展に資する取組について事務局より、提案内容の説明と進行をお願いします。

事務局

議案2につきまして、ご説明させていただきます。

こちらにつきましては、先程の議案1での説明と重複する部分がありますが、平成30年10月12日に本協議会を開催させていただき承認

をいただいた上で、認定をさせていただいております尻別風力発電事業の設備整備計画に関しまして、設置工事が令和3年の9月に運転を開始いたしましたことから、設備整備計画に基づきまして、当町で設置する基金への資金提供をいただく計画となっていることから、本日協議会を開催させていただきまして、昨年度同様に発電事業者への確認をさせていただきたいと思っております。

昨年同様に、設備整備計画につきまして資料1として添付させていただいておりますが、昨年度同様の説明となりますことから、今回の協議会での説明は省略させていただきます。

事務局からの説明は以上となりますが、尻別風力開発の方で今年度の運転状況等につきましての情報提供等をいただければと思っておりますが、いかがでしょうか。

尻別風力開発株

ありがとうございます。

せっかくの機会ですので、ご挨拶方々、ご説明をさせていただければと思っております。

私は、尻別風力開発で取締役をさせていただいております松本と申します。

私は今回初めて協議会へ参加という事で、よろしく願いいたします。

日頃より、当社の風力発電運営に多大なるご協力賜りありがとうございます。

この場をお借りしてお礼申し上げます。

ご紹介のあった通り、2021年の9月から運転を開始いたしまして、かれこれ2年と半運転してまいりました。

おかげさまで、大きなトラブルもなく、運転・操業・発電を継続しております。

これからも、変わらず、ご支援を賜ればと思っております。

運転の状況としましては、売上げで行きますと本当に、日本でも有数の風の強いところということで、順調に発電をしております。

当初の見立てから行きますと、多少計画からは今のところは下回っているところはあるんですが、事業の運営上では何も問題なく、我々も全国でも風力発電を持っておりますが、最も発電量をかせいでくれているという発電所になります。

事業の運転開始後は多少の小さなトラブルというのはありましたが、修理や交換等の対応で今は、全く問題なく順調に稼働している状況です。

引き続き安全運転に努めますし、現地で働く係員ともども、安全に運転してく所存ですので、引き続きよろしく願いいたします。

委員長

今、尻別風力さんの方から、当初計画より下回っているという話がありましたけれども、ここの協議会とはあまり関係ない話ではありますが、浜中の風車もですね、令和4年、令和5年と大きく下回っております。

風が弱かったということで、尻別風力さんは、スタートを切った時点から風が弱かったということで、儲けがない、ただ、経営的には支障がないということで、寿都の方もそうなんです、風には勝たれないんでね。

風がとにかく、平均的に吹いてもらいたいなと思っております。

この2月ですね、皆さんあの、地元の方は感じていると思うんですが、2月の風は、ほぼ計画どおりの風が、吹いており、浜中の新しい2基の風車ありますよね、この風車がすごく性能が良い、新しい風車が、通常は25～26%なんですただ、その2基については37%～38%の利用率となっており、通常より10%オーバーしている。

同じ風でも、それだけ成果が上がっているということで、この技術革新というのは、風力発電においては、かなり進んでいるのかなと感じているところです。

これから、温暖化の中で、ちょっとこの、気圧配置というのがここ2年間ぐらい、くるっているというのが、通常に戻ればですね、この地区もありがたい風が、これが町民の還元にもつながりますし、産業振興にもつながりますので、尻別風力開発さんについても、気持ちよく基金を拠出していただければと思います。

まあ、こればかりは、風だよりなんですけれども。

順調な風が吹いてくれれば良いなと思っております。

この件につきまして、何かご質問等あればお受けします。

委員

(なしの声)

委員長

議案3 その他であります、事務局で特になければ、質疑に入らせていただければと思いますがよろしいでしょうか。

委員

(はいの声)

委員長

事務局から何かありますか

事務局

事務局として、準備しているものは特にございません。

委員長

それでは、質疑にはいらさせていただきます。

全体を通しまして、再度ご確認したい点等ございましたらご発言をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。

また、会議が始まって10分ちょっとしかたっていないので、せっかく機会ですので、是非ともご意見等をいただければと思います。

委員（見上）

せっかくなので、ご質問をさせていただきます。

今、基金を積み立てて、実際に要望等があった事業に拠出しますよと言った話があったと思いますが、基金を利用してやっていこうという様な計画を町として、作られていく予定はあるのですか。

要望を聞いてそれに使うという方法なのか、基金をこれから積みあがっていくでしょうから、町として、計画をつくって行って、そこに充当していくという様な考え方だとかあるんでしょうか。

委員長

あの、今までですね。

町有の風車については、福祉・教育と色んな各町民に還元し、活用させていただいてきておりまして、今回の基金については、できるだけ産業振興に結び付けるような形で使いたいという風にしております。

これから、農業、漁業、水産加工業含めて、限られた基金でありますので、町の風車と含めて、合わせ技で進めていくのが良いのかなと考えております。

委員（見上）

ありがとうございます。

物価も上がっておりますので、皆さんでいい産業を興していただければと思いますし、有効に使っていただければと思います。

委員長

その他ありませんでしょうか

各磯谷方面の町内会にこの基金の一部を出してもらっております、非常に町内会の皆様もよろこんでおります。

この前、蘭越の町長さんにこの会話をしたら、港地区ですか、非常にありがたいと話しておりましたので、ただ、今日は湯別と樽岸の基金に関係ない町内会長さんもきており、磯谷だけいいんじゃないと思われがちに思われるかもしれませんが、幅広く町有の方で町民還元はこれからも続けたいと思いますので、ご理解の程よろしくお願ひしたいと思ひます。

委員（千葉）

蘭越の港側に4基立っていますよね。

全部で10基ですよ。

それで、1基あたりの風力の力というか、蘭越側と磯谷側ではだいぶ違うのですか。

尻別風力開発㈱

利用率については、ほぼ同じくらいです。
若干ではあるが、寿都側の方が良いという傾向があります。

委員長

それじゃあ、基金にも差をつけなければ、稼いでいる方に多くもらわないと。
それは余談ですけども。
とにかく、利用率も良いでしょう
2年間、風が弱いから一概には言えないでしょうけれど。

尻別風力開発㈱

そうですね、町長からも波はあるけれども、悪い方だという話は聞いておりますが、月によっても非常に利用率についてはバラツキがありますし、まあ、これからなのかなと期待しているところであります。
まあ、20年以上は発電が出来ればなと思っておりますので、これからもよろしく願いいたします。

委員長

35%行けば御の字ですよ。

尻別風力開発㈱

まあ、なかなか、他の風力発電を見ていても、30%に届くところは中々ありませんので、風力にしたら非常に素晴らしい環境だなとはひしひしと感じます。

委員長

その時の経営状況によって、多少、高く出していただければありがたいよね。
これも余談です。
そういう話をしてくれたらありがたんだよ。
私からするよりもね。

全体的に無ければ本当に短い時間で申し訳ないのですが、やらなければならない協議会になりますので、これからもご理解をいただきまして、ご案内をいたしますので、その際はよろしく願いしたいと思います。

北海道農政事務所

それではせつかくの機会ですので、農山漁村再エネ法につきましては、平成26年に作られてから、見直しという時期に来ており、今後見直しということで、いろんな角度からご意見をいただきたいとかがえているので、その際はよろしく願います。

委員長

また今、国も北海道も含めて、北海道は特に風のポテンシャルが高いという事で、各地区で、事業者さんが花火を挙げた時に、結構反対

運動が起きていますよね。

これって、我々風で利益をいただいているエリアとすれば非常に、残念というか、もったいないと思っております。

というのは、確かに環境問題等も含めてなんでもオーケーではありませんけれども、やっぱり地区で、地域で賦存量を含めて、メリットが多いのか、デメリットが多いのか地域の方がよく分からない中で反対ってポシャっているケースが見受けられる。

やはり、国・道がこのような方針を立てた訳ですから、地域の中で、そういう理解促進というのか、ゴリ押しでやれというのではなく、しっかり学んだ中で、これが地域にとって有効であれば、推進すればいいし、これが環境の方が問題が多いというのであればストップすればいいし、これ、地域の人が決めるべきで、地域外の人が云々というのは、私はいかがなものかという風に、いつもそういう報道を見た時に感じるんです。

ここは、普段は所管ではないと思いますが、いつも国、道の方には、私話をさせていただいているので、もったいない話だと思います。

また、ひとつ余談ですけども、北海道の風というのはもっともって有効に活用していかないと、これから、陸上も洋上も、海底ケーブルもどんどん進んでいくでしょうから、北海道はこれから益々、チャンスが来ると思いますので、私はもっともっと、推進していくべきかなと思っております。

うちの町は、理解してくれている方が多いと思いますが、他の地域ではそうでもないのかとも思いますので、ゴリ押しして云々ではありませんけれども、しっかりと学ぶという事も大切なことになるので、推進にあたって、今後ともご協力をいただければと思いますので、よろしくをお願いします。

あとありませんでしょうか。

委員 (なしの声)

委員長 はい、それではなければ、本日の協議会をお開きにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

委員 (はいの声)

委員長 それでは、ありがとうございました。

(以上で終了)